

令和5年度地域包括支援センター収支報告書

【収入】

単位：円

	富津地区地域包括支援センター			大佐和地区地域包括支援センター			天羽地区地域包括支援センター		
	介護予防支援事業	地域支援事業	計	介護予防支援事業	地域支援事業	計	介護予防支援事業	地域支援事業	計
受託料	0	32,160,000	32,160,000	0	20,242,000	20,242,000	0	27,425,000	27,425,000
地域包括支援センター業務受託料		32,160,000	32,160,000		20,242,000	20,242,000		27,425,000	27,425,000
ケアプラン作成料	5,858,146	2,933,297	8,791,443	4,126,387	1,789,882	5,916,269	3,802,079	3,059,893	6,861,972
介護予防ケアプラン作成料	5,858,146	2,933,297	8,791,443	4,126,387	1,789,882	5,916,269	3,802,079	3,059,893	6,861,972
その他	0	6,093,736	6,093,736	2,668,100	42,000	2,710,100	350,000	0	350,000
職員駐車場使用料			0		42,000	42,000			0
利息収入		35	35			0			0
前年度繰越金		6,093,701	6,093,701	2,668,100		2,668,100			0
職員給食費収入			0			0	350,000		350,000
合計	5,858,146	41,187,033	47,045,179	6,794,487	22,073,882	28,868,369	4,152,079	30,484,893	34,636,972

【支出】

	富津地区地域包括支援センター			大佐和地区地域包括支援センター			天羽地区地域包括支援センター		
	介護予防支援事業	地域支援事業	計	介護予防支援事業	地域支援事業	計	介護予防支援事業	地域支援事業	計
人件費	3,531,234	25,895,718	29,426,952	1,543,996	17,074,154	18,618,150	2,402,508	20,727,989	23,130,497
介護予防支援事業費	3,531,234		3,531,234	1,543,996		1,543,996	2,402,508		2,402,508
介護予防・生活支援サービス事業費		2,354,156	2,354,156		2,572,284	2,572,284		2,908,581	2,908,581
一般介護予防事業費		4,414,043	4,414,043		3,474,664	3,474,664		5,114,595	5,114,595
包括的支援事業費		18,538,980	18,538,980		11,027,206	11,027,206		12,464,943	12,464,943
任意事業費		588,539	588,539			0		239,870	239,870
物件費	767,465	4,321,709	5,089,174	0	3,264,373	3,264,373	690,813	6,902,758	7,593,571
介護予防支援事業費	767,465		767,465			0	690,813		690,813
介護予防・生活支援サービス事業費		325,816	325,816		205,900	205,900		657,047	657,047
一般介護予防事業費		1,093,448	1,093,448		493,893	493,893		1,948,670	1,948,670
包括的支援事業費		2,879,041	2,879,041		2,564,580	2,564,580		4,157,926	4,157,926
任意事業費		23,404	23,404			0		139,115	139,115
委託料	1,559,447	379,746	1,939,193	1,100,848	229,368	1,330,216	1,058,758	717,985	1,776,743
ケアプラン作成委託料	1,559,447	379,746	1,939,193	1,100,848	229,368	1,330,216	1,058,758	717,985	1,776,743
その他	0	3,000,000	3,000,000	0	0	0	0	0	0
法人本部返還金		3,000,000	3,000,000			0			0
合計	5,858,146	33,597,173	39,455,319	2,644,844	20,567,895	23,212,739	4,152,079	28,348,732	32,500,811
収入－支出（次年度へ繰越金）	0	7,589,860	7,589,860	4,149,643	1,505,987	5,655,630	0	2,136,161	2,136,161

令和 5年度富津地区地域包括支援センター収支報告書

富津市長 高橋 恭市 様

(地域包括支援センター)
社会福祉法人ミッドナイトミッション
理事長 木下 宣世

令和 5年度 介護予防支援事業

(収入)

(単位:円)

決算科目	決算額	説明
介護予防支援事業収入	5,858,146	(要支援1・2) 初回 7,534円 × 50件 = 376,700 継続 4,471円 × 1,226件 = 5,481,446
その他		
計	5,858,146	

(支出)

(単位:円)

決算科目	決算額	説明
介護予防支援事業費	4,298,699	人件費 3,531,234 物件費 767,465
	1,559,447	ケアプラン作成委託料 初回 6,781円 × 11件 = 74,591 継続 4,024円 × 369件 = 1,484,856
計	5,858,146	

令和 5年度 地域支援事業

(収入)

(単位:円)

決算科目	決算額	説明
委託料収入	32,160,000	富津市富津地区地域包括支援センター運営業務委託料
その他(地域支援事業収入)	2,933,297	(総合事業分) 初回 7,534円 × 22件 = 165,748 継続 4,471円 × 619件 = 2,767,549
利息収入	35	
繰越金	6,093,701	
計	41,187,033	

(支出)

(単位:円)

決算科目	決算額	説明
地域支援事業費		
介護予防・生活支援サービス事業費	2,679,972	人件費 2,354,156 物件費 325,816
	379,746	ケアプラン作成委託料 初回 6,781円 × 2件 = 13,562 継続 4,024円 × 91件 = 366,184 (事業内訳) 介護予防ケアマネジメント事業
一般介護予防事業費	5,507,491	人件費 4,414,043 物件費 1,093,448 (事業内訳) 介護予防把握事業 地域介護予防活動支援事業
包括的支援事業費	21,418,021	人件費 18,538,980 物件費 2,879,041 (事業内訳) 総合相談支援事業 権利擁護事業 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 地域ケア会議の開催 在宅医療・介護連携推進事業 生活支援体制整備事業 認知症総合支援事業
任意事業費	611,943	人件費 588,539 物件費 23,404 (事業内訳) 認知症サポーター等養成事業
法人本部返還金	3,000,000	
繰越金	7,589,860	
計	41,187,033	

(様式8)

富津地区地域包括支援センター事業評価書

大項目	中項目	小項目	実施内容・評価														
介護予防・日常生活支援総合事業	一般介護予防事業	介護予防把握事業	<p>(実施内容) 地域住民や民生委員、関係機関と連携し、要支援者宅に訪問したり、出張相談会来場者に基本チェックリストを実施。生活の困りごとなど確認し、情報提供や社会資源に繋いだ。</p> <p>(評価) アウトリーチや相談会の実施により地域住民の状況や支援を必要とする人の早期発見及び把握に努めた。</p>														
		地域介護予防活動支援事業	<p>(実施内容) 富津市が推進する「富津市いきいき百歳体操」に関して普及・啓発を行い、グループの自主的な活動の継続について体操の確認や講話を開催するなどの後方支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津市いきいき百歳体操 8か所 ・自主活動グループ 4か所 ・新規団体立ち上げ 1か所 <p>開催回数327回 参加者(延べ)3,442人</p> <p>(評価) これまで活動場所がなかった地区への立ち上げができた。地区の中でも活動場所に偏りがあり、高齢化などの理由で主体的に活動ができるリーダーとなりえる人材が不足している事が挙げられる。</p>														
	総合相談支援業務	在宅介護等に関する総合相談	<p>(実施内容) 相談内容について、当センター内にて検討し、課題解決できるように支援を実施。(総合相談件数(実)316件)</p> <p>【内訳】</p> <table border="0"> <tr><td>介護保険申請について</td><td>89件</td></tr> <tr><td>介護予防給付について</td><td>108件</td></tr> <tr><td>総合事業について</td><td>9件</td></tr> <tr><td>高齢者虐待について</td><td>13件</td></tr> <tr><td>成年後見制度について</td><td>2件</td></tr> <tr><td>権利擁護について</td><td>3件</td></tr> <tr><td>その他</td><td>92件</td></tr> </table> <p>※介護保険に関連した相談 197件(62%)</p> <p>(評価) 介護保険に関連した相談が6割を占めている。癌患者の暫定利用の調整や介護支援専門員選定の支援が多い。癌患者は認定が出る頃には状況が変化しすぐに区分変更申請が必要となるためサービス調整が困難となっている。介護支援専門員は市内外ともに満員で繋ぐまでに時間を要している。</p> <p>その他は高齢者だけでなく、その子や孫世代の困り事(障害、引きこもり、経済的困窮)など多世代複合的な相談であったり、飼犬の世話ができなくなった等の相談があり、センター内に留まらず行政や他機関との連携を図っている。</p> <p>成年後見制度の活用に至る前の段階で身元保証人がいないなどの相談もあり情報提供や対応に苦慮する事があった。</p>	介護保険申請について	89件	介護予防給付について	108件	総合事業について	9件	高齢者虐待について	13件	成年後見制度について	2件	権利擁護について	3件	その他	92件
介護保険申請について	89件																
介護予防給付について	108件																
総合事業について	9件																
高齢者虐待について	13件																
成年後見制度について	2件																
権利擁護について	3件																
その他	92件																

	<p>要援護高齢者等の実態把握業務</p>	<p>(実施内容) 関係機関や近隣からの情報を得て、戸別訪問を適宜実施した。実態把握し情報提供や関係機関へ繋ぐ支援を行った。反面自分には関係ないと介入拒否があるケースが少なくなかった。 (評価) 実態を把握し希望する方には地域の社会資源や総合事業へつなぐ事ができた。また孤立傾向など関わりが必要そうであるが、関わりを求めないケースが少なくなかった。今後も民生委員、地区社会福祉協議会の情報や近隣住民等からの相談をもとに、要援護高齢者等の実態把握と介入に努める。</p>
<p>権利擁護業務</p>	<p>成年後見制度の活用促進</p>	<p>(実施内容) 出張相談会にて地域住民に向けて成年後見制度の講話を実施した。 都度成年後見制度が必要な高齢者・親族に対し制度の説明および利用に関する情報提供を実施した。担当部署や成年後見支援センターと協働し支援を行った。申立てが困難な方には市町村申立について相談した。 (2件) また意思表示ができる方に対して富津市マイライフノートの活用を勧め作成の補助を行った。 (評価) すぐに支援が必要な状況となってからの相談が多くを占め申立て～後見人選定までの間の支援に苦慮した。支援が必要とされる世帯等の状況を把握、情報提供を続け安心して暮らしが続けられるよう支援していく。</p>
	<p>老人福祉施設等への措置の支援</p>	<p>(実施内容) 虐待等で早急に避難や分離が必要な高齢者について、行政と情報共有を行い老人福祉施設等への措置入所の支援の検討を行った。(3件) (評価) 市行政担当に相談し、措置の実施を求めることができた。</p>
	<p>高齢者虐待への対応</p>	<p>(実施内容) 相談件数 11件 (身体的虐待5件、心理的虐待1件、複合5件) 警察から市への通報のケースが多数であった。 (評価) 夫婦関係や親子関係の悪化、表出により介入。認定とならない事例も多かった。行政と協働し寄り添い、傾聴することで一時的に鎮静し、継続して状況把握、状態の解決に努めた。</p>
	<p>消費者被害の対応</p>	<p>(実施内容) 消費者被害、詐欺被害に関連した相談 3件 消費生活支援センターや警察へ繋げ被害を未然に防ぐことができた。 また上記機関に最新情報を確認し、出張相談会にて講話を実施した。 また被害防止の為に地域住民や商店等を対象に「見守りウォーキング・わんわんパトロール」の周知活動を実施。事業への協力を得られバンダナの配布や名簿登録者数を増やすことができた。 (評価) チラシやポスターを見たり、口コミにより事業に関心をもって地域の見守りの目を増やすことができた。</p>

包括的

包括的・継続的ケア ネットワーク 包括的・継続的ケア ネットワーク 地域介護支援事業所の 主任介護支援専門員との 連携 地域ケア個別会議の開催	包括的・継続的なケア 体制の構築	(実施内容) 地域の介護支援専門員が介護保険以外の多種多様な社会資源を活用できるよう情報の収集整理を実施。個々の相談内容にマッチングする社会資源の情報提供を行った。 (評価) 食事の宅配サービスや介護タクシー、見守りサービス、いきいき百歳体操などの活動の場の情報提供が多かった。
	地域における介護支援 専門員のネットワーク構築 支援	(実施内容) 富津市ケアマネジャー協議会にオブザーバーとして参加し、定例会や研修会などで介護支援専門員の抱える課題や、富津市及び近隣市の抱える課題等の情報共有や課題について検討を行った。 また3地区地域包括支援センター、基幹相談支援センター主催研修を開催。分野を越えた交流が図れるように努めた。 (評価) 3地区地域包括支援センター、富津市ケアマネジャー協議会と協働し、介護支援専門員のニーズにもとづいてZOOMや対面で多様な関係機関との情報共有・意見交換の場を設けることができた。
	地域の介護支援専門員 に対する後方支援	(実施内容) 介護支援専門員の個別相談 23件 サービス担当者会議の出席 11回 介護支援専門員への助言及び後方支援 40回 地域個別ケア会議の実施 1件 制度に関する確認やサービスへの結びつけ、対応困難ケースの状況把握、同行支援を実施した。 (評価) センターの三職種が連携して専門的な視点から総合的に支援を行った。介護保険では対応しきれない課題については関係機関に繋ぎ協働できた。
	居宅介護支援事業所の 主任介護支援専門員との 連携	(実施内容) 事例検討会、交流会の実施 2回 介護支援専門員相談窓口のチラシ作成、広報 介護支援専門員向け広報誌の記事作成 富津市ケアマネジャー協議会地域支援活動部会と協働し、介護支援専門員のみならず地域に向けての情報発信を実施した。 (評価) 富津市ケアマネジャー協議会地域支援活動部会と協働し、災害対策や担い手不足の課題について検討を深めた。
	地域ケア個別会議の開催	(実施内容) 地域ケア会議個別会議 1件 自立支援のための地域ケア会議 10回 個別会議では身寄りのない終末期の方への対応を協議した。自立支援の為の地域ケア会議は事例提供と助言を行った。 (評価) 富津地区や他地区の事例を検討し、個別の事例から地域の課題も捉え課題検討できるように努めた。

<p>在宅医療・介護連携推進事業</p>	<p>(実施内容) 富津市在宅医療・介護連携推進会議、ワーキンググループに出席。君津圏域多職種連携情報共有システム(バイタルリンク)の勉強会に出席。 また当センター内に「医療介護連携サポート窓口」を設置し、状況に応じサポート医相談、助言を受ける体制を整えている。 (評価) バイタルリンクは圏域の多職種と情報共有や相談ができるツールであるが、積極的な活用に至っていない。有効に活用出来るよう活用方法の検討や周知を図っていきたい。</p>
<p>生活支援体制整備事業</p>	<p>(実施内容) 圏域の生活支援コーディネーターと情報共有を行い、高齢者の支援ニーズの把握に努めた。 (評価) 生活支援コーディネーターと連携し、地域課題の把握及び共有を図ることができた。</p>
<p>認知症総合支援事業</p>	<p>(実施内容) 認知症初期集中支援チーム員会議出席 毎月 認知症メモリーウォーク実行委員会出席 毎月 認知症メモリーウォーク参加 認知症カフェ、出張相談会を活用し認知症相談会、家族交流会を開催し認知症高齢者やその家族、地域住民に対して支援や普及啓発活動を行った。 (評価) チームや社会資源、介護保険などで関わりを続けることで認知症高齢者や介護する家族が穏やかに暮らせる様子が確認できた。</p>
<p>任意事業</p> <p>認知症サポーター等養成事業</p>	<p>(実施内容) 青木メロン会 14名 富津市立図書館 13名 望みの門デイサービス 12名 3団体39名に認知症サポーター養成講座を実施。 認知症の正しい知識の伝達や自分たちにできる事を考える機会を設けた。キッズサポーターの養成について近隣の小中学校へ実施相談をしたが、スケジュールが合わず実施に至らなかった。 (評価) 数年コロナ禍で実施できていなかったが活動が再開できた。地域でも認知症への関心が高まっている。</p>
<p>多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築</p>	<p>(実施内容) 富津市在宅医療・介護連携会議 地域密着型事業所の運営推進会議 富津市ケアマネジャー協議会定例会 その他職域団体が開催する会議や研修会への出席により関係機関との顔合わせや情報交換をおこない必要時ケース対応にあたった。 (評価) 困難事例など多職種で協議し課題解決に向けて対応できた。</p>

令和5年度富津市大佐和地区地域包括支援センター収支報告書

富津市長 高橋 恭市 様

(地域包括支援センター設置
 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会
 会長 川名 健



令和5年度 介護予防支援事業
 (収入)

(単位:円)

科目	決算額	説明
介護予防支援事業収入	4,126,387	(要支援1・2) 初回 7,534円 × 24件 継続 4,471円 × 877件 委託連携加算 3,063円 × 8件
その他	2,668,100	令和4年度繰越金
計	6,794,487	

(支出)

(単位:円)

科目	決算額	説明
介護予防支援事業費	1,543,996 1,100,848	人件費 1,543,996円 ケアプラン作成委託料 初回 6,781円 × 8件 + 継続 4,024円 × 254件 + 委託 3,063円 × 8件
その他	4,149,643	令和5年度繰越金
計	6,794,487	

令和5年度 地域支援事業
 (収入)

(単位:円)

科目	決算額	説明
委託料収入	20,242,000	富津市大佐和地区地域包括支援センター運営業務委託料
その他(地域支援事業収入)	1,789,882	(総合事業分) 初回 7,534円 × 18件 継続 4,471円 × 370件
その他	42,000	職員駐車場利用負担金
計	22,073,882	

(支出)

(単位:円)

科目	決算額	説明
地域支援事業費		
介護予防・生活支援サービス事業費	2,778,184 229,368	人件費 2,572,284円 物件費 205,900円 (事業内訳) 介護予防ケアマネジメント事業 継続 4,024円 × 57件
一般介護予防事業費	3,968,557	人件費 3,474,664円 物件費 493,893円 (事業内訳) 介護予防把握事業 地域介護予防活動支援事業
包括的支援事業費	13,591,786	人件費 11,027,206円 物件費 2,564,580円 (事業内訳) 総合相談支援事業 権利擁護事業 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 地域ケア会議の開催 在宅医療・介護連携推進事業 生活支援体制整備事業 認知症総合支援事業
その他	1,505,987	令和5年度繰越金
計	22,073,882	

(様式8)

大佐和地区地域包括支援センター事業評価書

大項目	中項目	小項目	実施内容・評価
介護予防・日常生活支援総合事業	一般介護予防事業	介護予防把握事業	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員や民生委員等の福祉関係者等と連携を図り、支援を必要とする方の早期把握に努めた。 ・支援を要する高齢者について、基本チェックリストを活用して、日常生活の状況や生活機能の低下の原因等を把握した。 <p>(評価)</p> <p>民生委員等の福祉関係者から情報等頂き、運動機能の低下等により支援を要する方と一緒に支援内容の検討を行い、介護保険サービスや介護予防活動等に繋げることができた。</p>
		地域介護予防活動支援事業	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津市いきいき百歳体操 17ヵ所 内自主化 15ヵ所 ・自主化した団体の後方支援を行った。 <p>(評価)</p> <p>令和5年度は自主運営の新規団体が1ヵ所増となった。円滑に自主活動が行えるよう支援を行った。課題としては、新たな活動可能団体や、自主運営に結びつくリーダー的人材の発掘が必要と考える。</p>
	総合相談支援業務	在宅介護等に関する総合相談	<p>(実施内容)</p> <p>総合相談件数 (実) 360件</p> <p>【内訳】</p> <p>介護保険申請等 96件</p> <p>介護保険利用相談 122件</p> <p>総合事業に関する相談 16件</p> <p>高齢者虐待に関する相談 3件</p> <p>その他 123件</p> <p>(評価)</p> <p>包括内配置の専門職で対応検討して課題解決に取り組み、状況によっては関係機関と連携を図った。介護保険関係の相談が全体の約6割であった。次いで、その他に関する相談が多く見られ、傾向として虐待に関する相談が見られるようになっている。</p> <p>相談内容内訳のその他については施設入所や入院の保証人、受診拒否、転院について、安否確認、生活保護、救急搬送、家族関係等、多岐にわたっている。課題として、昨年度と同様に入院時に身元保証人になる方がいない、身内がいても疎遠になっていて協力してもらえない、連絡先が分からない等で今後の生活に不安を感じている方がおり、この課題の対応に苦慮する。</p> <p>また、毎月、市担当課及び3地区の地域包括支援センター、障害者支援の基幹相談支援センター等と定例会を開催しており、その中でも困難事例等についても検討しながら、情報共有を図っている。</p>
		要援護高齢者等の実態把握業務	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問時等で基本チェックリストを活用して実態把握に努めた。 <p>(評価)</p> <p>高齢者は生活環境の変化等で重度化になる可能性もあるので、富津市担当課と協力しながら、早期に要援護高齢者等の実態把握できるように努める。</p>

包括的支援事業	権利擁護業務	<p>成年後見制度の活用促進</p>	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の相談や継続的に支援している高齢者や家族で成年後見制度の必要性がある状況の方に制度の説明を行い、状況によっては富津市社会福祉協議会が運営している「ふつつ成年後見支援センター」に繋いだ。 <p>(評価)</p> <p>富津市社会福祉協議会の「ふつつ成年後見支援センター」と連携し活用促進を進めた。また、認知症で身寄りがいない方や財産管理ができない方の相談があった。対象者が亡くなった後に対象者の意思で財産が活用できるようにとの相談もあった。根本に身寄りがいなかったり、親族がいても不仲であったりと、今後、身寄りがいない方等の相談が増えていくことが推測される。富津市担当課と常日頃から情報共有を図り、今後の方策を検討していきたい。</p>
		<p>老人福祉施設等への措置の支援</p>	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所の介護支援専門員が担当している高齢者の情報共有を行い、措置が必要な状況になった時に富津市担当課へ報告し、措置の支援を実施した。 <p>(評価)</p> <p>富津市担当課との連携を図り状況把握を行い、措置と措置後の支援（状況報告、写真ビデオレター等）を行っている。</p>
		<p>高齢者虐待への対応</p>	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続相談件数 1件 ・高齢者・障害者虐待対応にかかわる研修会（参加者19名） <p>(評価)</p> <p>新規の高齢者虐待ケースはなかったが、以前より継続しているケースの対応が続いた。また前年度より虐待に関連する総合相談も複数あり、虐待認定には至っていないが、今後も虐待関連ケースが増加するのではないかと考える。</p> <p>また、虐待の防止や対応について、介護支援専門員と研修会を実施した。</p>
		<p>消費者被害の対応</p>	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員等と情報共有を図るとともに消費者相談等の情報が入った時は、居宅介護支援事業所やデイサービス等へ情報提供を行い、福祉関係者全体で防止に努めた。 ・生活支援コーディネーターや警察と連携し見守りウォーキングのチラシを3地区の地域包括支援センターで協働や検討を行い市民へ周知を図った。 <p>(評価)</p> <p>警察や消費生活相談員と連携して関係者に研修会を開催していたが、今年度においても新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）予防の観点より実施できなかった。そのために情報等が入った時には消費者被害の状況を記載したチラシを作成し、速やかに介護支援専門や福祉事業所等へ情報提供し、福祉関係者一同で消費者被害の予防を図った。</p>
		<p>包括的・継続的なケア体制の構築</p>	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援で介護支援専門員や医療関係者と情報交換を行い顔のみえる関係を構築し体制づくりを行った。 ・地域の団体が進めている総合事業のサービスの支援を行い、ケア体制の構築に努めた。 ・3地区包括・ケアマネ協議会・基幹相談支援センター 合同研修会（2回開催、参加者94名） <p>(評価)</p> <p>Zoomを併用して介護支援専門員、障害相談支援専門員と研修会を開催し、障害者支援事業所の実践報告をいただきながら、双方の連携が強まるようケア体制の構築に努めた。</p>

包括的・継続的ケア マネジメント支援業務	地域における介護支援専門員のネットワーク構築支援	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員と障害相談支援専門員の交流会及び意見交換会の実施。 ・介護支援専門員の相談内容から、介護支援専門員と関係機関の橋渡しを行い顔の見える関係を構築し、介護支援専門員のネットワークを構築した。 <p>(評価)</p> <p>Zoomを活用して実践報告での連携や意見交換を実施し、ネットワークの構築支援を実施することができた。介護支援専門員のネットワーク強化だけでなく、介護支援専門員と地域包括支援センターとのネットワーク強化に繋がっており、継続して行っていきたい。</p>
	地域の介護支援専門員に対する後方支援	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員からの困難ケース等の相談に対して課題解決のために関係機関と介護支援専門員を繋げたり、課題把握や解決に向けた検討や同行訪問等を行った。(1件) <p>(評価)</p> <p>困難ケースについては3職種の専門的見地から助言を行い、介護支援専門員の業務だけでなく精神的負担軽減も含めて対応した。また、虐待ケースの支援体制の構築や身寄りのない方の今後の支援方法について等後方支援を行い支援体制を整えた。</p>
	居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員との連携	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員との事例検討会。(2回) ・介護支援専門員業務の周知。 ・介護支援専門員の相談窓口の実施。 <p>(評価)</p> <p>主任介護支援専門員と地域支援活動部会を開催し、災害時の介護支援専門員の活動等の検討や市民へ介護支援専門員業務の周知やZoomを使用した事例検討会を開催し、介護支援専門員の資質向上等の支援を実施することができた。</p>
	地域ケア会議(個別会議及び推進会議)の開催	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援のための地域ケア会議にて、事例提供及び助言者として出席し、対象者の自立支援及び地域課題や今後の施策の提案を行った。 <p>(評価)</p> <p>地域ケア会議で多職種の連携が進み、地域ケア会議の目的でもある施策への提案について行うことができた。</p>
	在宅医療・介護連携推進事業	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富津市在宅医療・介護連携推進会議」で在宅医療と介護の連携の検討を行った。 ・「在宅医療・介護連携相談窓口」を事務所内に設置し窓口利用の普及に努めた。 <p>(評価)</p> <p>圏域内の医療関係者や介護関係者と情報共有等を行い、連携の推進に努めた。今後も「在宅医療・介護連携相談窓口」の相談対応や、医療関係者や介護関係者と情報共有を密にして活動を展開していく。</p>
	生活支援体制整備事業	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源把握や多職種連携に向けての研修を行い、生活支援コーディネーター等との情報交換の場をつくり、今後の富津市に必要な資源や事業展開などを検討した。 <p>(評価)</p> <p>地域活動者や民生委員、介護支援専門員との情報交換やネットワーク構築が図られた。今後も生活支援コーディネーターとも地域課題に対してどのような体制やアプローチが必要なのかを検討していく。</p>

	認知症総合支援事業	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チームと連携して認知症の方と家族への支援の検討及び支援を実施した。 ・認知症の理解を深めるために認知症メモリーウオーク実施に向けて実行委員会と検討を行い開催した。 <p>(評価)</p> <p>認知症初期集中支援チームとの連携により、介護保険サービスに繋げること等ができ、認知症の方が住みなれた自宅で生活することができた。</p>
任意事業	認知症サポーター等養成事業	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年度はサポーター養成講座や模擬訓練、サポーターのフォローアップ講座を実施できなかったが、市や他事業所協力のもと認知症メモリーウオークをイオン富津店にてイベント開催し、広域的に認知症に関する啓発を行った。 <p>(評価)</p> <p>認知症サポーター養成講座の開催方法を模索し、認知症の理解やサポーターが増やせるように関係者とも連携し検討していく。</p>
	多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害支援相談員と介護支援専門員との研修会開催。 ・地域福祉と介護支援専門員の関わり方の研修会開催。 ・ケースの対応時に多職種と連携することでネットワークの構築を行った。 <p>(評価)</p> <p>Zoom等のオンライン手法を取り入れ、参加しやすい環境づくりを図り、多職種協働のネットワークの構築を進めることができた。</p>

富津市長 高橋 恭市 様

(地域包括支援センター設置者)
社会福祉法人 金谷温清
理事長 平寫 一良令和5年度 介護予防支援事業
(収入)

(単位:円)

科目	決算額	説明
介護予防支援事業収入	3,802,079	(要支援1・2) 初回 7,534円 × 21件 継続 4,471円 × 815件
その他	350,000	職員給食費収入
計	4,152,079	

(支出)

(単位:円)

科目	決算額	説明
介護予防支援事業費	3,093,321	人件費 2,402,508円 物件費 690,813円
	1,058,758	ケアプラン作成委託料 初回6,781円×6件 継続4,024円×253件
計	4,152,079	

令和5年度 地域支援事業

(収入)

(単位:円)

科目	決算額	説明
委託料収入	27,425,000	富津市天羽地区地域包括支援センター運營業務委託料
その他(地域支援事業収入)	3,059,893	(総合事業分) 初回 7,534円 × 21件 継続 4,471円 × 649件
計	30,484,893	

(支出)

(単位:円)

科目	決算額	説明
地域支援事業費		
介護予防・生活支援サービス事業費	3,565,628	人件費 2,908,581円 物件費 657,047円 (事業内訳) 介護予防ケアマネジメント事業
	717,985	ケアプラン作成委託料 初回 6,781円×5件 継続 4,024円×170件
一般介護予防事業費	7,063,265	人件費 5,114,595円 物件費 1,948,670円 (事業内訳) 介護予防把握事業 地域介護予防活動支援事業
包括的支援事業費	16,622,869	人件費 12,464,943円 物件費 4,157,926円 (事業内訳) 総合相談支援事業 権利擁護事業 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 地域ケア会議の開催 在宅医療・介護連携推進事業 生活支援体制整備事業 認知症総合支援事業
任意事業費	378,985	人件費 239,870円 物件費 139,115円 (事業内訳) 認知症サポーター等養成事業
次年度繰越金	2,136,161	
計	30,484,893	

大項目	中項目	小項目	実施内容・評価
介護予防・日常生活支援総合事業	一般介護予防事業	介護予防把握事業	<p>(実施内容)</p> <p>富津市いきいき百歳体操の団体や地域の医療機関、民生委員、地域住民、富津警察署を始めとした関係機関と連携し地域の高齢者の心身状態の把握や対応に努めた。また基本チェックリストでの状態把握を進めた。</p> <p>(評価) 圏域の医療機関や民生委員、福祉事業所、富津警察署との連携を強化し早期の段階での状態把握に努めた。圏域の5つの医療機関と相互に連絡を取り合い介護福祉サービスが必要となる可能性の高い高齢者に対して情報を共有し、介護保険の申請など必要な対応を行った。地域からの情報をもとに早期に介入するとともに、状態把握、医療、福祉サービスにつなげることに注力した。</p> <p>基本チェックリストによる状態把握を実施し総合事業利用に向けて対応した。</p> <p>基本チェック 10名</p>
		地域介護予防活動支援事業	<p>(実施内容)</p> <p>介護予防教室 7ヵ所 参加者(延) 72人 富津市いきいき百歳体操 19ヵ所 登録者 298人 出前講座 7回 (延) 338人</p> <p>(評価)</p> <p>富津市いきいき百歳体操団体は令和5年度に4か所が追加され19ヵ所となり、天羽地区全域に細やかな拠点が創出された。百歳体操は筋力の維持増強という目的だけではなく過疎高齢化が進む天羽地区において新たなコミュニティとしての機能を発揮している。団体の立ち上げ当初から地域包括支援センターの看護師が関わり、自主活動となった後も定期的に健康講話を実施するなど関わりを継続することで心身状況に変化が生じた際に速やかに地域包括支援センターに情報が寄せられ早期に対応することが出来る体制が構築された。出前講座を積極的に実施し、地域包括支援センターの活動の一般化と地域包括支援センターとの連携を強化する契機ともなっている。</p> <p>【出前講座】</p> <p>R5.4.16 「どんな時に地域包括支援センターに連絡するか？」 湊地区社協 35人 R5.7.30 「湊地区社協健康教室」 湊地区社協 72人 R5.11.24 「基幹相談支援センターとの連携について」 県基幹相談支援センター 85人 R5.11.28 「社会福祉法人における地域支援事業について」 八千代市地区社協 25人 R5.12.14 「地域包括支援センターについて」 オアシス慶寿認知症カフェ 参加者 23人 R5.12.16 「障害福祉から介護保険へサービス移行時の現状と課題」 川崎市社協 28人 R6.3.11 「福祉施設職員によるバスマットについて」 社会福祉法人金谷温清会 70人</p>

包括的支援事業	総合相談支援業務	在宅介護等に関する総合相談	<p>(実施内容)</p> <p>総合相談件数(実) 281件</p> <p>【内訳】</p> <p>介護保険申請等 116件・介護保険利用相談 82件・高齢者虐待防止対応 2件・成年後見制度利用相談 0件・権利擁護について 1件・その他 80件</p> <p>(評価)</p> <p>包括支援センターが高齢者の総合相談の窓口である事を一般化するために、包括主催の事業を行った際に回覧版にて実施状況を地域に伝達する事なども行い、活動や存在の周知に努めた。相談件数としては介護保険の申請の支援が一番多く、申請の支援、認定調査の立ち合い、ケアマネジャーの選任もしくはサービス導入、給付管理までの一連の流れに対して支援を行い定期的確実な見守りの目が入る様体制を整えた。</p>
		要援護高齢者等の実態把握業務	<p>(実施内容)</p> <p>民生委員、医療機関からの包括への情報提供により事態を把握し総合相談に繋げるなど高齢者に関しての情報を持つ機関等との連携に努めた。地域の5か所の医療機関との連携が密にとれた。地域の事業所と共同し基本チェックリストによる状態把握を進め10名に対して実施した。</p> <p>(評価)</p> <p>医療機関や民生委員等と連携し高齢者の実態について把握し適宜介護保険サービスにつなげる事や見守りを行う事が出来た。</p>
	権利擁護業務	成年後見制度の活用促進	<p>(実施内容)</p> <p>地域ケア推進会議等を通じ地域住民に成年後見制度の存在を周知した。</p> <p>(評価)</p> <p>制度についての地域住民の認識を高めることに注力した。また地域において単身者が増加しており制度活用の必要な対象者が増加していることについても地域の課題として伝達することが出来た。</p>
		老人福祉施設等への措置の支援	<p>(実施内容)</p> <p>養護老人施設と日頃から連絡を取りベッドの空き状況等に関して把握すると共に入居が必要となった際は行政と連携し入居の可否等について検討した。</p> <p>(評価)</p> <p>入居の必要性のある対象者が発生した際にスムーズに支援が行えるよう養護老人ホームとの情報共有に努めた。2名の入所支援を行い入所となった。</p>
権利擁護業務	高齢者虐待への対応	<p>(実施内容)</p> <p>相談件数 2件</p> <p>(評価)</p> <p>虐待ケースに関して行政、ケアマネジャー及び関係機関と共同し見守りの支援を継続した。医師からの通報で虐待が疑われるケースについて訪問確認を行った事例などがあった。</p>	
	消費者被害の対応	<p>(実施内容)</p> <p>富津警察署との「高齢者の犯罪被害防止の為の協定」を基に継続的かつ効果的な対応を目指し活動した。日常的な対応としては富津警察署より詐欺情報が入った際に『天羽地区の高齢者を守るネットワーク』に賛同する医療機関5カ所、福祉事業所27カ所、市内郵便局11カ所、一般企業等8カ所計51事業所にFAXにて情報伝達し各事業所の利用者に詐欺情報を直接伝える体制を活用した。年間6回送信。富津市高齢者</p>	

			<p>支援係、富津、大佐和、天羽地区地域包括支援センター及び各地域の生活支援コーディネーターと協働し認知症徘徊早期発見、高齢者虐待防止、詐欺被害防止を目的とした『見守りウォーキング・わんわんパトロール』のチラシ、ポスターを作成した。また当事業に賛同する住民にパンダナを配布するとともに連絡先を把握し今後の事業展開に備えた。</p> <p>(評価)</p> <p>消費詐欺被害防止については富津警察署協議会委員となったことにより、これまでよりも強固な連携と情報収集が可能となった。電話 de 詐欺、市内で3件、被害総額1,250万円であった。</p>
	包括的・継続的なケア体制の構築		<p>(実施内容)</p> <p>医療機関や民生委員、圏域のケアマネジャーと協働し継続的なケアが効果的に実施できるよう各機関が円滑に情報共有出来る様努めた。</p> <p>17件の相談を受け協働した。</p> <p>(評価)</p> <p>医療機関とご家族及び福祉関係者が円滑に情報共有出来るよう調整する事が出来た。困難事例が発生した際に包括に相談するという経路が圏域のケアマネジャーに一般化されてきた。</p>
	包括的・継続的ケアマネジメント	地域における介護支援専門員のネットワーク構築支援	<p>(実施内容)</p> <p>R5.6.15『救急搬送発生！どうしたらスムーズに搬送できる？』 50名</p> <p>R5.11.15『高齢者福祉・障害者福祉の連携』 44名</p> <p>3包括及び基幹相談支援事業所合同 zoom 研修会の開催</p> <p>(評価)</p> <p>ケアマネジメントを行う中で頻繁に生じる救急搬送をスムーズに行うため消防署より研修を zoom にて実施。救急隊員、高齢者ケアマネ、障害者相談支援員各々の立場や困りごとなどを共有することでスムーズな救急搬送が為せるよう研修した。</p> <p>また高齢者ケアマネと相談支援相談員が円滑に連携できるよう事例を通して双方の立場の確認を行い高齢者施策と障害者施策の連携が図れるよう研修を行った。</p>
	包括的・継続的ケアマネジメント	地域の介護支援専門員に対する後方支援	<p>(実施内容)</p> <p>介入、対応困難ケース17件</p> <p>(評価)</p> <p>介入、対応困難ケースなどケアマネジャーからの相談を契機に医療機関や関係機関と連携、協働し、サービス導入や緊急入院などの対応を行った。高齢者障害者複合世帯については圏域の障害者支援事業所と連携し個別ケア会議を開催するなど課題解決のための活動を実施することが出来た。</p>

包括的支援事業	居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員との連携	<p>(実施内容) 富津市ケアマネジャー協議会主任ケアマネジャー部会とともに圏域のケースについて事例検討会を実施した。また富津市ケアマネジャー協議会、地域活動部会とも協働し地域に向けてケアマネジャーの仕事を紹介する資料を作成し医療機関などに配布した。</p> <p>天羽包括主催の事例検討会 2回 延べ参加者 18名</p> <p>(評価)</p> <p>富津市ケアマネジャー協議会主任ケアマネジャー部会、地域活動部会との連携がなされた。事例検討会を通じ圏域の主任ケアマネジャーとの信頼関係が構築され、困難事例が発生した際に天羽包括へ相談としてスムーズに挙がって来るようになった。圏域の社会資源の共有と日常業務の中での困るごとなどについて話し合い解決に導いた。</p>
	地域ケア個別会議の開催	<p>(実施内容)</p> <p>【地域ケア推進会議】</p> <p>R5.6.1 『見守りに関する困りごと検討』 湊地区社協 参加者 20人</p> <p>R5.7.22 『未来の天羽地区のために何が出来るのか』 竹岡地区社協 15人</p> <p>R5.10.21 『見守りどうあるべきか?何をすべきか?』 湊地区社協 25人</p> <p>R6.3.14 『未来の天羽地区のために何が出来るのか』 金谷地区社協 40人</p> <p>(評価)</p> <p>湊地区、竹岡地区、天神山地区において地域ケア推進会議を実施した。ここ数年来『天羽地区で今、何が起きているのか?』とのテーマで地域課題について広く住民に周知していただくことを目的として実施してきたが令和5年度は一步踏み込み『未来の天羽地区のために何が出来るのか』とのテーマを掲げ、天羽地区の2040年までの人口動態などをもとに現段階での地域課題、今後発生することが予見される地域課題について認識を共有した上で、今何が出来るのかを検討する会議とした。また湊地区社協においては日常的に行っている区長や民生委員、ふれあい推進員による見守りについての困りごとの共有や見守りがどうあるべきなのかグループワークを用いて検討し、過疎高齢化が進む地域での見守りの重要性について認識を共有する会議となった。今後も地域ケア推進会議を通じて地域課題の周知一般化を進めるとともに住民主体型サービスの創出等による具体的解決策を検討していきたい。</p> <p>会議後チラシを作成し、回覧板にて地域ケア推進会議を実施したことを天羽地区全域にお伝えした。</p> <p>(実施内容)</p> <p>【地域ケア個別会議】</p> <p>3回 3ケース 会議参加者延べ19人</p> <p>(評価)</p> <p>多問題世帯の生活状況の把握や今後の支援の方向性を関係者で検討。</p> <p>介入困難ケースにおいて利用者家族とケアマネがトラブルになったケースの仲介及びサービスにつなげるまでの支援の検討と実施を行い、問題解決に導いた。</p>

	在宅医療・介護連携推進事業	<p>(実施内容)</p> <p>圏域で活動するケアマネジャーと天羽圏域の5つの医療機関及び君津中央病院、大佐和分院、鋸南病院等と対象者の情報共有に努めた。また在宅医療・介護連携推進事業に関する会議に出席。君津木更津医師会による「医療・介護連携相談」の窓口となった。</p> <p>(評価)</p> <p>研修や会議を通じ事業の意義について認識し活動する事が出来た。また圏域の医療、介護事業所の円滑な情報共有の一如となれたと感じている。圏域のICT化(バイタルリンクの活用)により医療・福祉の連携が円滑に進むよう対応した。</p>
	生活支援体制整備事業	<p>(実施内容)</p> <p>地域ケア推進会議をきっかけとして誕生した住民主体型の支援団体岩坂お助けクラブ及び天神山地区に発足した住民主体型の通いの場さらに障害者支援施設太陽のしづくの活動への支援を行った。</p> <p>(評価)</p> <p>各団体との日々の連携情報共有と地域ケア推進会議等で住民や圏域で活動するケアマネジャーに住民主体型のサービスの情報提供を行った。またサービスを必要とする住民を団体につなげるなどの活動を行った。</p>
	認知症総合支援事業	<p>(実施内容) 令和元年12月11日より天羽地区独自に発令した『認知症非常事態宣言』を継続し認知症対象者の早期発見早期対応のための活動を圏域の医療機関、民生委員等と協働した。</p> <p>(評価)</p> <p>地域の認知症介入困難ケース等について地域ケア個別会議を開催し対策について関係機関、地域と連携を取った。殊に圏域の医療機関との密な連携により早期発見早期対応が叶った。圏域の5か所の医師より認知症状や歩行状態などに不安がある対象者についての情報提供が頻繁にあることに加え、医師による地域包括支援センターへのご案内も功を奏し合理的な支援の助けとなった。圏域の心療内科・精神科の医師との連携も構築され地域住民に専門医へのご案内が出来るようになりその結果福祉サービスの導入がスムーズに行えた。</p>
任意事業	認知症サポーター等養成事業	<p>(実施内容)</p> <p>R6.1.21 天神山地区社協 31人</p> <p>(評価)</p> <p>認知症サポート医である原田内科小児科医院、原田則雄医師と協働し認知症サポーター養成講座を実施することが出来た。天羽包括として購入したオレンジリングを受講者に交付し、認知症サポーターとしての意識強化を図った。また認知症サポーター養成講座を開催した旨のチラシを作成し、天羽地区全域に回覧した。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">多職種協働による地域包括支援 ネットワークの構築</p>	<p>(実施内容)</p> <p>天羽地区の5か所の医療機関との日常的な情報共有により認知症対象者の早期把握や急な体調悪化への対応がスムーズに行うことが出来た。高齢者、障害者、精神障害者を含む世帯の支援を障害者相談支援事業所と連携して支援することが出来た。</p> <p>(評価)</p> <p>認知症や地域の感染症発生状況等多角的な課題に対して医療機関や関連する機関と協働して対応することが出来た。地域課題が複雑化する中、様々な専門家の支援を受けて課題解決に向けて活動することが出来た。</p>
---	--

